



CONTENTS

- | | | | |
|-------|--|-------|---|
| 01 | ●Opinion
「就任のご挨拶」
株式会社日本政策金融公庫盛岡支店 支店長 中村 康利 | 07 | 第41回岩手県中小企業青年中央会通常総会・青年部講習会を開催 |
| 02~12 | ●主要記事 | 08 | 会員組合実施事業等紹介 |
| 02 | 地区別懇談会を9地区・8会場で開催 | 09 | 「働き方」が変わります!2019年4月1日から働き方改革関連法が順次施行されます。
「新春中央会組合トップセミナー・新春交賀会」のご案内 |
| 03 | 被災企業等販路開拓支援事業 採択結果公表
取引力強化推進事業 採択結果公表 | 10~11 | 中小企業組合士試験問題紹介【組合制度】 |
| 04 | 平成29年度補正「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」2次公募開始! | 12 | 先進組合事例の紹介 長崎県鉄筋工事業協同組合 |
| 05 | 第23回度岩手県中小企業組合士会通常総会が開催される
いわて働き方改革AWARDエントリー受付中! | 13 | ●会員情報 他 |
| 06 | いわてキラリ企業合同就職フェアを開催
人手不足対応ガイドライン・セミナーを開催 | 14~15 | ●岩手県内中小企業概況(8月) |
| | | 16 | ●中央会Information
第43回中小企業団体岩手県大会開催のご案内
中小企業組合等震災対応移動中央会開催のご案内 |



「就任のご挨拶」

株式会社日本政策金融公庫 盛岡支店

支店長 中村 康利



岩手県中小企業団体中央会並びに会員の皆様には、平素より格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

東日本大震災津波から7年余り、平成28年台風第10号上陸から2年が経ちます。被害を受けられた皆様に改めまして心からお見舞い申し上げます。本年6月には大阪府北部地震の発生により、また、翌7月には西日本を中心とする豪雨により甚大な被害が発生しました。被災された方々の一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、本年4月、念願叶って初めて盛岡に着任して以降、これまで県内各地を訪ねる機会がありました。岩手県が1都3県（東京、埼玉、千葉、神奈川）を合わせた面積よりも広いことを実感しつつ、雄大な山々や美しい三陸海岸の景観、今も息づく伝承や祭り等、九州・福岡出身の私にとって、その豊かな風土に圧倒されるばかりです。また、地域に根差した伝統ある産業から最先端の産業に至るまで各地で多様に展開されており、経営者の方々のお話を伺うたびに、深く感銘を受けています。

ところで、県内の経済は、設備投資が増加傾向を維持する等、引き続き緩やかな回復基調にあるとみられています。外需の好調等を背景に生産も持ち直しているとされ、消費者物価も前年を上回る状況が続いています。6月には宮古市と室蘭市を結ぶフェリーの就航、8月には県内初の国際定期便となる台湾便が就航するなど、交流人口の拡大による新たな需要の創出に期待が寄せられています。さらに、来年に迫ったラグビーワールドカップや再来年の復興五輪（東京オリンピック・パラリンピック）の開催を控え、消費者マインドの一層の改善にも期待がかかっています。

一方で、人手不足やそれに伴う人件費の増加等により、経済の停滞を懸念する声があるほか、将来的な人口減少による影響により、先行きの不透明感もあります。

こうした状況の中、本年10月に統合10周年を迎える私ども日本政策金融公庫は、地方公共団体や民間金融機関と密接に連携しつつ、これからも皆様の身近な存在として、復興の先を見据えて経営の高度化を進める会員の皆様のご期待にお応えできるよう、支店一体となって精一杯努力する所存です。

最後になりましたが、岩手県中小企業団体中央会並びに会員の皆様の益々のご発展を心から祈念いたしますとともに、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。



地区別懇談会を県内8地区・9会場で開催

本会では、7月3日から7月20日の間に県内8地区・9会場において地区別懇談会を開催した。当懇談会は、県内各地域・業界における中小企業の課題に応えるため、県内中小企業組合の代表者と中央会役職員による意見交換を行うもので、寄せられた意見は本会が行う国・県に対する中小企業政策・施策要望に反映する。

懇談では、東日本大震災から7年が経過するが、復旧・復興の程度は地域や事業者により様々であり、特に復興後を見据えた支援が必要であることや、喫緊の課題として挙げられている人材不足対策などについて検討を重ねた。

下記は、懇談会において協議された主な政策要望事項の一部抜粋である。

○復興支援関係

(1) 復興財源確保と予算措置

→復興後の経済発展を見据えた、必要な予算の継続措置

(2) 復興工事予定価格（発注額）の引き上げ

→実勢価格に見合った積算単価の変更及び発注時期の平準化

(3) グループ補助金の継続等

→認定グループが共同で取り組む新商品開発・販路開拓事業等に対する補助事業の創設

○地方創生関係

(1) 中小企業の事業継続に向けた公共事業費の確保

→国土強靱化基本計画等に基づき社会資本の計画的整備、中小企業の活用

(2) 「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」の継続、生産性向上支援

→補助率・補助上限の引き上げ、フォローアップ事業の拡充。

(3) 地域中小企業の人材確保・育成に対する支援

→働き方改革関連法の適切な周知、中小企業の経営実態に配慮した人手不足対応策及び支援

(4) 中小商業の活性化支援の継続・拡充等

→意欲有る商業者を支援する新たな補助制度創設。および、商業施設の整備等における補助対象経費の拡大

(5) 観光立国実現と東北へのインバウンド拡充等に向けた支援

→震災復興を絡めた東北観光の推進、プロモーション

○国際リニアコライダー（ILC）の誘致の早期決定

→積極的な日本誘致の早期決定

○消費税率引き上げに伴う対策の強化

→景気対策の要望と軽減税率制度導入および的確請求書等保存方式導入への反対

○官公需対策の強化

→設計労務単価の設定に際する、必要経費等の適切な計上
最低制限価格制度の導入や発注条件の見直し

○中小企業税制関連

(1) 法人税実効税率引き下げに伴う税制見直し等

→中小企業の経営に大きく影響する外形標準課税の適用や中小企業関係税制の見直し等への反対



【盛岡地区(工業)懇談会】



【花北地区懇談会】



【久慈地区懇談会】



【気仙地区懇談会】



被災組合等販路開拓支援事業 採択結果公表

本会では、東日本大震災及び台風10号からの確実な復興・再建を図るため、震災や原発事故、台風等により大きく影響を受けた組合及び組合員企業による展示会・物産展の開催及び出展などの販路開拓に向けた取り組みや需要喚起を図るための販売促進活動に要する経費（出展料、旅費、広告宣伝費等）を補助する「被災組合等販路開拓支援事業」を実施している。今年度は、下記8組合等の取り組みを支援する。

組合名等	所在地	テーマ
直売センター北上協同組合	北上市	北上産六次産業加工商品の販路拡大に向けたビジネスマッチ東北2018 出展事業
盛岡市肴町商店街振興組合	盛岡市	肴町プレミアム商品券発売および肴町歳末抽選会による販促事業
山田町特産品販売協同組合	山田町	山田産原木椎茸の風評被害払拭及び販路拡大に向けた首都圏での物産展出展事業
ドンと市かわさき協同組合	一関市	風評被害及び集客減による売上確保対策としての出張販売。
岩手県葬祭業協同組合	盛岡市	被災組合員等の受注獲得のための組合ウェブサイト構築
岩手県菓子工業組合	盛岡市	各種スイーツイベントへの積極的出展による顧客・消費拡大
及川冷蔵株式会社	大船渡市	さんま加工品の販路拡大に向けた中小企業 新ものづくり・新サービス展出展事業
協同組合いわて希望の宿ネットワーク	盛岡市	組合ウェブサイト開設による共同誘客事業

取引力強化推進事業 採択結果公表

本会では、中小企業者・小規模事業者の取引力強化を図るために組合が行うホームページやチラシの作成等、共同事業の活性化・組合員の受注促進等の取り組みに対して支援を行う取引力強化推進事業を実施している。公募及び選考委員会を経て、下記2組合を採択した。

組合名	事業名
協同組合湯本商店会	取引力強化に向けた組合ホームページ作成事業
協同組合宮古ファーマシー	組合員の取引力強化のための組合公式サイトによる情報発信



平成 29 年度補正「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」2次公募開始！

「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」の概要

【目的】

足腰の強い経済を構築するため、日本経済の屋台骨である中小企業・小規模事業者が取り組む生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等の一部を支援するものです。

【補助対象事業・要件】

◆本事業の補助対象者は、日本国内に本社及び実施場所を有する中小企業者および特定非営利活動法人（公募要領記載の要件をみたすもの）に限ります。

◆本事業では、『革新的サービス』『ものづくり技術』の2つの対象類型があります。また、それぞれについて、『企業間データ活用型』『一般型』『小規模型（設備投資のみ）』の事業類型があります。補助率は、事業類型、取得計画、企業規模によって異なりますので、以下をご確認下さい。

事業類型	補助上限額	補助率	設備投資	補助対象経費
企業間データ活用型（※1）	1,000万円	2/3以内	必要	機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド利用費
一般型	1,000万円	1/2以内（※2）		
小規模型（設備投資型）	500万円	1/2以内 （小規模企業者 2/3以内）		

○いずれの場合も生産性向上に資する専門家の活用がある場合は、補助上限額の30万円の増額が可能。

○一般型・小規模型において、複数の中小企業者等が連携体として申請を行うことが可能。

（補助上限額は共同申請全体で、一般型1,000万円、小規模型500万円）

（※1）「企業間データ活用型」において、連携体は幹事企業を決め、10者まで。さらに連携体参加者×200万円を上限とした追加分を連携体内で配分できます。

（※2）「一般型」において、生産性向上特別措置法（平成30年通常国会提出）に基づき、固定資産税の特例率ゼロの措置をした市町村において、補助事業を実施する事業者が、「先端設備等導入計画」の認定を取得した場合の補助率は2/3以内。

「一般型」において、3～5年で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%に加え、「従業員一人当りの付加価値額」年率3%を向上する中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画を、平成29年12月22日以降新たに申請し承認を受けた場合の補助率は2/3以内。

◆申請事業は、『革新的サービス』、『ものづくり技術』のいずれかの類型の要件を満たし、事業の実効性について認定支援機関の確認が必要となります。

『革新的サービス』

「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年計画で、「付加価値額（営業利益+人件費+原価償却費）」年率3%及び「経常利益（営業利益-営業外費用）」年率1%の向上を達成できる計画であること。

『ものづくり技術』

「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、生産性を向上させる計画であること。

【公募期間】 平成30年8月3日（金）～平成30年9月10日（月）（当日消印有効）

※応募書類は、郵送により岩手県中小企業団体中央会宛に送付願います。公募要領・応募書類につきましては、岩手県中央会のホームページからダウンロードしてお使い下さい。

【お問い合わせ先・申請先】

岩手県中小企業団体中央会 H29ものづくり支援センター
〒020-0878 盛岡市肴町4番5号 岩手酒類卸(株)ビル2階
TEL：019-613-2633 FAX：019-613-2634

HP：<http://www.ginga.or.jp/> ⇒ 公募要領・応募書類様式はこちらからダウンロード

第23回岩手県中小企業組合士通常総会が開催される

岩手県中小企業組合士会（会員50人）の第23回通常総会が、7月25日盛岡市の岩手酒類卸ビル会議室にて開催され、提出議案すべて原案どおり可決承認された。平成29年度の事業報告では、昨年10月に秋田市の「秋田キャッスルホテル」で開催された「東北・北海道ブロック中小企業組合士研修交流会」や、11月に仙台市で開催の「中小企業組合士スキルアップ研修」への参加状況などについて報告がされた。また、今年度の事業計画では、郡山市で10月に開催される同ブロック中小企業組合士研修交流会の案内や、資質向上のためのスキルアップ研修会へ参加勧奨などの説明がされた。なお、任期満了に伴う役員の変更では、理事8名、監事2名の選出が行われ次表のとおり就任。



総会の様子

総会では、新たに組合士に認定された5名に「認定書」が授与されたほか、去る6月15日東京都で開催された全国中小企業組合士協会連合会通常総会において、岩手県組合士会監事の泉田氏が全国中央会会長表彰を、他2名の方が優良組合士として全国中小企業組合士協会連合会会長表彰を受賞したことが伝達された。

総会終了後に開催された組合士研修交流会では「職場環境の改善について～これってハラスメント～」をテーマに社会保険労務士の澤頼典子氏からご講演を頂いた。

役職名	氏名	所属組合
会長	似内 裕司	花巻機械金属工業団地（協）
副会長	佐藤 岳夫	（協）盛岡卸センター
	菅原 香	（協）高田松原ショッピングセンター
	杉山 昇	（協）盛岡南ショッピングセンター
理事	千葉 文子	岩手県南生コン業（協）
	大和田治美	一関市水道工事業（協）
	鎌田 愛子	（協）南三陸ショッピングセンター
	村上 誠	盛岡青果卸売（協）
	泉田十太郎	けせんプレカット事業（協）
監事	荒木 健彦	（協）南三陸ショッピングセンター

いわて働き方改革 AWARD

2018年度エントリー受付中！

10月12日（金）締切り

いわて働き方改革 AWARD は、県内事業所の働き方改革に向けた取り組みを、岩手県が審査・表彰しています。複数の視点から総合的に働き方改革に取り組む事例から、小さくても自社の課題やスタイルに合わせたユニークな取り組み事例まで、さまざまな事例でエントリーが可能です。ぜひエントリーをご検討ください。

.....こんな会社での取り組みありませんか？.....

- 年次有給休暇の取得促進の一環として「1か月に1日は、有給休暇を取得する」ことを社内で推奨しています。
- 法令で規制されているものの他に、会社オリジナル休暇制度を導入しています。（ボランティア休暇、パパママ休暇、バースデー休暇）
- ファミリーデーを開催するなど、従業員とその家族が楽しめるイベントを行っています。
- イスを置かない「立ち会議室」を設けるなど、会議の効率化に取り組んでいます。

企業の取り組みを岩手県が表彰

いわて働き方改革 AWARD

2018年度エントリー受付スタート！

最優秀には副賞10万円

エントリー締め切り

2018年10月12日（金）まで

（事業実施主体）
岩手県商工労働観光部雇用対策・労働室労働室

（事務局・問い合わせ先）
いわて働き方改革サポートデスク（ジョブカフェいわて内）
TEL019-621-11771 FAX019-606-3702

（エントリーダウンロード）
いわて働き方改革推進運動特設サイト
<http://www.shigotoba-iwate.com/kigyou/kaikaku/>

いわてキラリ企業合同就職フェアを開催

いわてキラリ企業合同就職フェア（面接会）を7月10日にホテル東日本にて開催し、県内中小企業等53社が出展、学生等を中心とした若者及び一般求職者59名（前年比4名減）の参加を得た。

2019卒の採用活動は、就職解禁日は3月1日、選考開始日は6月1日と昨年と同様の採用スケジュールで就職活動が進む中、実際の面接開始は3月下旬がピーク、内定出しも4月下旬がピークになるなど、企業の採用活動の早期化に拍車がかかるとともに、経団連スケジュールの形骸化が鮮明となった。

メガバンクの採用抑制が発表されるなど、中小企業の採用活動の改善に期待が持たれていたが、採用の早期化と相殺される形で、応募者数の増加に至らない状況となった。中小企業でも内定者を十分に確保できた企業は、最初の企業PRから面接までのスケジュールを短期化し、内定早出しを進めた企業ほど良好な結果を示しており、スピード感の重要性が高まりを見せた。



○企業プレゼンテーションの様子



○合同就職フェア会場の様子

人手不足対応ガイドライン・セミナーを開催

県内中小企業の人材確保・定着の推進に向けた取り組みとして、「人手不足対応ガイドライン活用・実践セミナー」を7月24日（火）に盛岡駅西口「マリオス」にて、24名の参加を頂き開催した。

本セミナーは、若者、女性、キャリア人材等の多様な人材の県内企業への就職及びU I J ターンの促進等を目的に、東北経済産業局より本会が事業を受託している「東北地域中小企業・小規模事業者人材確保・定着等支援事業」の中核事業として実施するもので、中小企業の人手不足時代を乗り切るための取り組み事例が多数掲載されており、その普及を通じて県内中小企業の人材確保支援を行うことを目的としている。

講師には、中小企業庁の人手不足対応研究会委員であり、中小企業診断士でもある「株式会社クオリティ・オブ・ライフ 代表取締役 原 正紀 氏」をお招きし、「労働時間で評価する時代から生産性で評価する業務変革の時代へ」をテーマに中小企業における人手不足対策についてご講演頂いた。



○講師 原 正紀 氏



○ワークショップの様子



第41回岩手県中小企業青年中央会通常総会・青年部講習会を開催

7月18日、岩手県中小企業青年中央会（会長 澤田 亮。以下、青年中央会）は第41回通常総会をホテル東日本盛岡で開催した。来賓および会員青年部関係者ら38名の出席を得た。来賓を代表し岩手県商工労働観光部 経営支援課 新事業・団体支援担当課長 似内憲一 氏、(株)商工組合中央金庫 盛岡支店長 山本雅之 氏よりお祝いの言葉をいただいた。

議事では、上程された全3議案が原案どおり満場一致により可決され、若手経済人の組織集団である青年中央会だからこそできることに着実に取り組むとともに、本県復興・活性化に向け、柔軟な発想・創造性・活力に満ちた青年経営者等の資質向上のための各種事業を展開することとした。



祝辞を述べる似内 新事業・団体支援担当課長



地域資源を活用した様々な取り組みについて講演する豊岡氏



鯖に対する熱い想いを語る右田氏



席数：店内34席 テラス4席 計38席（さば）
営業時間11：38（イイサバ）～11：38（イイサバ）

38（サバ）を前面に出す経営戦略例（右田氏資料より）

総会後には、青年部講習会を開催。はじめに(株)八幡創活サポートセンター（本社：盛岡市）取締役 豊岡卓司 氏より「埋もれた資源を呼び起こす新たな地域リノベーションの取り組み～会社設立による民泊事業、八幡町・肴町・河南地域の新たな取り組み～」と題して講演いただいた。バスセンター跡地（Side-B）を始めとする既存資源の利活用による様々な取り組みや民泊事業、地域の更なる活性化に向けた新規イベントの開催とその成果などが紹介され、「これからも全国に向けて自信を持って発信できるイベントを開催していきたい。」と今後に向けた意気込みが語られた。続けて、(株)鯖や（本社：大阪府豊中市）代表取締役 サバ博士 右田孝宣 氏より「漁業版 SPA を目指す、鯖やの挑戦～さばからはじまるグローバル展開～」と題して、鯖一筋で起業・経営している氏の理念や様々な取り組みについて講演いただいた。潜在するマーケットの掘り起こしやメディアを活用した広告戦略、クラウドファンディングを利用した経営戦略に加えて、IoT やドローン船を取り入れた新たな漁業やブランド化への取り組みなどが紹介され、「オンリーワンは当たり前。経営者ならばナンバーワンを目指すべき。」という言葉とともに、今後も積極的に事業展開をしていく熱意が語られた。

講習会後には、講師2名にも参加いただき懇親会を開催。岩手県商工会議所青年部連合会 会長 及川元氏の乾杯により開会すると、積極的な情報交換・意見交換がなされた。参加者らは大いに刺激を受けるとともに、次代における経営や事業展開に対する決意を新たにし、岩手県商工会青年部連合会 副会長 三浦結輝氏の中締めにより盛会のうちに終了した。

会員組合実施事業等紹介

本会では、組合事業及び組合員の経営力強化・経営環境対応などのために各種支援事業を行っております。組合等による講習会・セミナー等の開催の他、専門家等を活用した課題解決の取組み等についてご検討の際は本会までご相談下さい。以下では、中央会事業を利用した会員組合によるセミナー等の取組みをご紹介します。

◇ 岩手県室内装飾事業(協)「化粧フィルム工事作業研修会」を開催

岩手県室内装飾事業(協)(細野 呼攸 理事長)は、7月5日(木)、6日(金)盛岡市総合アリーナにおいて、内装用化粧フィルムの知識の習得および適切な施工方法の習得を目的として研修会を実施した。講師には同施工について、多くの実績を持つ、有限会社イチノヘリビング代表取締役の一戸 亜夫氏を招聘。「化粧フィルム工事作業」は、平成30年度より、国家検定制度である「技能検定」において、「内装仕上げ施工(化粧フィルム工事作業)」として国家資格化された。これを踏まえ、技能レベルの向上と実際の資格取得を見据え、作業実習および講習会を行った。特に作業実習では、時間内で施工完了や、仕上がり状態等を重点項目として、それぞれ作業に当たった。組合では、今後も各事業者の資格取得および更なる技術向上に向けて取組みを行う。



実地作業の様子

◇ 岩手県南生コン業(協)「ILCを巡る最新の動向とマスタープランについて」等を開催

7月18日(水)、岩手県南生コン業(協)(安東 邦男 理事長)は、岩手県企画理事の大平尚氏と高エネルギー加速器研究機構(KEK)名誉教授の吉岡正和氏を講師に招き、「ILCを巡る最新の動向とマスタープランについて」、「加速器トンネルの概要について」と題して組合員向けにセミナーを開催した。

大平氏からは、ILC誘致を巡る最新の動向と今後の展望について解説。(以下要旨)政府は年内をめどに誘致決定有無の態度を示すとし、政府の誘致決定となれば、準備期(政府決定から概ね4年間)としインフラ(道路、港湾等)の整備、住居等外国人生活環境整備がすすめられ、次に建設期(着工から概ね9年)に移る。この時期は、建設資材供給、保管場所の提供、技術者等住居の提供が行われ、人・モノが集積する。次に運用期(運用開始から概ね10年)に移る。インキュベーション機能整備、産業団地整備がされ、世界への情報発信を行っていく。次に成熟期(運用開始から20年)に移る。新技術の創出、新産業が勃興し、ベンチャーが続々と登場。国際拠点の形成が行われていく。政府の誘致決定にはILCへの国民理解が必要となる。そのためにも東北が一体となって普及啓発や関連産業の育成に取り組むことが重要。

吉岡氏からは、加速器トンネルの概要について解説。(以下要旨)宇宙のナゾを解き明かす突破口となる実験装置がILC。全長30kmに及ぶトンネルの中で、光速に加速された電子と反物質である陽電子ビームを正面からぶつけると、その超高密度のエネルギーの衝突の中に「宇宙の誕生から1兆分の1秒の世界」が再現されることは世界の物理学者たちの共通認識となっている。ILCは、約140億年前に起こった宇宙創生・ビッグバンの瞬間をこの地球上で再現しようという実験施設となる。現在、素粒子と宇宙の最新の研究では、これまで真空とされていた宇宙空間にはヒッグス粒子、ダークマター、ダークエネルギーといった未知のエネルギーと物質が満ちていることがわかってきた。その研究成果は、エネルギー・医療・工業はもとより、あらゆる分野に革新的な「未来」をもたらすことが期待されている。また、吉岡氏からはILC Supporters募集の紹介もされた。

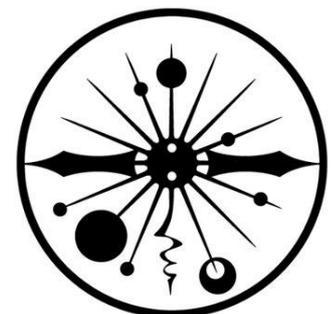
受講者らは、ILC誘致を巡る最新の動向と今後の展望と加速器トンネルの概要について理解を深めた。



セミナーの様子



講師 吉岡氏による解説



ILC Supporters のロゴ



岩手労働局より

「働き方」が変わります！2019年4月1日から働き方改革関連法が順次施行されます。

①時間外労働の上限規制の導入	
施行：2019年4月1日～ ※中小企業は2020年4月1日から	時間外労働の上限を月45時間、年360時間を原則とします。
②年次有給休暇の確実な取得	
施行：2019年4月1日～	使用者は毎年5日、時季を指定して有給休暇を与える必要があります。(※10日以上の子年次有給休暇が付与される労働者)
③正規・非正規労働者の不合理な待遇差の禁止	
施行：2020年4月1日～ ※中小企業は2021年4月1日から	基本給や賞与などの個々の待遇ごとに不合理な待遇差が禁止されます。

詳しい問い合わせ、相談先は、①②岩手労働局労働基準部監督課（☎019-604-3006）
③同局雇用環境・均等室（☎019-604-3010）
※改正法の詳細は厚生労働省HP『「働き方改革」の実現に向けて』をご覧ください。
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000148322.html>

「新春中央会組合トップセミナー・新春交賀会」のご案内

本会では、新春恒例となっております組合代表者、役職員の皆様一堂に会する新春中央会組合トップセミナーを下記のとおり開催することといたしましたのでご案内申し上げます。

◆開催日時：平成31年1月10日（木）14：30～（受付：14：00～）
・14：35～（仮）「2019 県政情報」・・・講師：岩手県商工労働観光部商工企画室（予定）

◆新春講演 講師：坂本 光司（さかもと こうじ）氏 元法政大学大学院 教授
・15：15～ 講演テーマ：（仮）「日本で一番大切にしたい会社から学ぶ
～なぜ社員を幸せにすると企業経営がよくなるのか～」

講師プロフィール

1947年生まれ 静岡県出身

静岡文化芸術大学政策学部・同大学院教授、法政大学大学院政策創造研究科教授などを歴任

ベストセラー「日本でいちばん大切にしたい会社」（あさ出版）著者

「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞審査委員長等、国・県・市町村の公務も多数務める



◆17：00～ 新年交賀会

◆開催場所：ホテル東日本盛岡（〒020-0022 岩手県盛岡市大通3丁目3-18）

※会員の皆様には後日ご案内申し上げます。また、演題、タイムスケジュール等が変更となる場合があります。予めご了承ください。

◆お問い合わせ：企画振興部



中小企業組合士試験問題紹介【組合制度】

中小企業組合士とは、中小企業組合の事務局で働いている役職員の方が職務を遂行する上で必要な知識に関する試験を行い、試験合格者に中小企業組合士の称号を与える制度で、今年度の試験は12月2日(日)に全国の主要都市で実施されます。

今月より、昨年度実施された検定試験の問題から抜粋して、試験科目の「組合制度」、「組合運営」、「組合会計」を3回に分けて紹介します。第1回目の今回は組合制度です。

なお、岩手県中央会では、試験に向けて、10月～11月に組合士養成講習会を開催する予定です。

【 組 合 制 度 】

第1問

次の設問AとBのうち、どちらか1問を選び400字以内で記述しなさい。なお、400字を超えた場合は減点します。

(設問A) 中小企業等協同組合法に定められている、組合の「基準及び原則」について述べなさい。

(設問B) 中小企業にとっての組織化の意義について述べなさい。

第2問

次の文章は、中小企業基本法からの抜粋である。文中の□A～□Jに語群①～⑳の中から正しいものを選び、その番号を解答用紙の解答欄に記入しなさい。

(中小企業者の努力等)

第七条 中小企業者は、経済的社会的環境の変化に即応してその事業の□Aを図るため、□Bにその経営及び□Cの向上を図るよう努めなければならない。

2 中小企業者の事業の□Dのための組織その他の中小企業に関する団体は、その事業活動を行うに当たっては、中小企業者とともに、基本理念の実現に□Eに取り組むよう努めるものとする。

(経営の□Fの促進)

第十二条 国は、中小企業者の経営の□Fを促進するため、新商品又は新役務を開発するための技術に関する研究開発の促進、商品の生産又は販売を著しく効率化するための設備の導入の促進、商品の開発、生産、輸送及び販売を統一的に管理する新たな経営管理方法の導入の促進その他の必要な施策を講ずるものとする。

(創業の促進)

第十三条 国は、中小企業の創業、特に□Gや青年による中小企業の創業を促進するため、創業に関する情報の提供及び研修の充実、創業に必要な資金の円滑な供給その他の必要な施策を講ずるとともに、創業の意義及び必要性に対する国民の関心及び理解の増進に努めるものとする。

(□Hな事業活動の促進)

第十四条 国は、中小企業の□Hな事業活動を促進するため、商品の生産若しくは販売又は役務の提供に係る著しい新規性を有する技術に関する研究開発の促進、□Hな事業活動に必要な人材の確保及び資金の株式又は社債その他の手段による調達を円滑にするための制度の整備その他の必要な施策を講ずるものとする。

(資金の供給の円滑化)

第二十五条 国は、中小企業に対する資金の供給の円滑化を図るため、政府関係金融機関の機能の強化、□Iの充実、民間金融機関からの中小企業に対する適正な融資の指導その他の必要な施策を講ずるも

のとする。

(の充実)

第二十六条 国は、中小企業のの充実を図り、その経営基盤の強化に資するため、中小企業に対する投資の円滑化のための制度の整備、租税負担の適正化その他の必要な施策を講ずるものとする。

【 語 群 】				
①企業業績	②主体的	③取引条件	④理想的	⑤自己資本
⑥収益事業	⑦女性	⑧積極的	⑨社会資本	⑩成長発展
⑪経営安定	⑫創造的	⑬連携	⑭信用補完事業	⑮自主的
⑯高齢者	⑰共同化	⑱政策的	⑲理想	⑳革新

第3問

次の設問1～5の文章は、中小企業組合について述べたものである。文中のからに入る最も適切な語句を記入しなさい。(抜粋)

(設問2)

の算定方法については、法は特別な規定を設けていないから、定款で自由に定めることができる。一般的には、その方法として、改算式(均等式) 算定方式と加算式(差等式) 算定方式のふたつがある

(設問4)

組合における (企業組合のを除く)の定数の少なくとも3分の2は、組合員又は組合員たる法人の役員でなければならず、設立当時のの定数の少なくとも3分の2は、組合員になろうとする者又は組合員になろうとする法人の役員でなければならないとされている。

第4問

次に掲げたA～Jの内容が正しいものには○印を、誤っているものには×印を記入しなさい。(抜粋)

A. 中小企業等協同組合法

(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律との関係)

第七条 次の組合は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律の適用については、同法第二十二條第一号の要件を備える組合とみなす。

一 事業協同組合又は信用協同組合であつて、その組合員たる事業者が次のいずれかに掲げる者であるもの

イ 資本金の額又は出資の総額が五億円(小売業又はサービス業を主たる事業とする事業者については五千万円、卸売業を主たる事業とする事業者については一億円)を超えない法人たる事業者

F. 中小企業等協同組合法

(総会招集の手續)

第四十九条 総会の招集は、会日の十日(これを下回る期間を定款で定めた場合にあっては、その期間)前までに、会議の目的である事項を示し、定款で定めた方法に従つてしなければならない。

2 総会の招集は、この法律に別段の定めがある場合を除き、理事会が決定する。

3 第一項の規定にかかわらず、総会は、組合員の3分2以上の同意があるときは、招集の手續を経ることなく開催することができる。

今回掲載した問題の解答につきましては、後日、岩手県中央会のホームページに掲載します。

長崎県鉄筋工事業協同組合

～鉄筋工組合における女性事務局長のさわやか13年間の成果～

組合概要

組合名	長崎県鉄筋工事業協同組合	URL	http://www.nagasaki-tekkin.com/index.html	
住所	(〒850-0802) 長崎県長崎市伊良林1丁目2番2号			
電話番号	095-895-7355	FAX 番号	095-820-2447	
設立	平成10年5月	出資金	1,240千円	
主な業種	鉄筋工事業	組合員	19人	

■事業活動の背景と目的

鉄筋工は建設工事の業種の中でもいわゆる「3K」のイメージが強く、若者・女性から敬遠されがちであった。また、19組合員も相互にライバル意識が強く、一体感が欠如していた。さらに、若年労働者の不足や従業員の高齢化など解決すべき課題があった。

■事業・活動の内容と成果

女性事務局長が課題解決の推進役として行動力、持ち前の明るさ・女性特有の誠実さ・きめ細かさ・他人への思いやり等、男性とは異なるソフトな管理・運営手法によって、徐々に役員・組合員に受け入れられ、数々の成果を生み出した。

「鉄筋工のイメージアップ」については、組合として国のキャンペーンに取り組んだほか、事務局長の提案で青年部の設立と長崎県中央会青年部への加入を実現し、異業種青年部との交流を深める過程において、青年部から出てきたアイデアを採用した結果、作業員ごとにバラバラだった作業服からスタイリッシュな作業服への統一化が各社に広がっている。

「若年労働者の確保」については、各地区の組合員の協力が前提であったが、事務局長が各地区の高校等へ足繁く通って打合せを行い、生徒の考えや就職への思いをリサーチしたことが成功要因である。結果として、2年で23名が就職、更に2名の女性鉄筋工が誕生し、11月から組合員企業に就職予定という予想を超える成果を挙げる事ができた。

その他、組合員としての一体感の醸成、各種補助事業への積極的な取り組みによる財務内容の黒字体質への転換、事業承継（組合員の8割が世代交代）の推進も進んだ。

■事業・活動推進のキーファクター

女性特有のソフトな管理・運営力と責任感の強さからくる課題達成への熱い想いが理事長及び役員と共有され、組合員、青年部へと広がり、大きな成果へと繋がった。



▲長崎県立長崎工業高校教職員実技指導研修風景



▲長崎県立島原工業高校生実技指導風景

(全国中央会資料収集加工事業より抜粋)

○全国中央会では共同事業の先進事例について毎年テーマを設定の上、各県中央会に候補組合の調査を依頼し、「先進組合事例抄録」として報告書をまとめると共に全国中央会のホームページにも掲載している。本事業は昭和57年度から開始され、これまで収録した組合事例は、延べ6,000組合を超えている。

「先進組合事例抄録」の内容は、「組合事例検索システム」<http://jirei.chuokai.or.jp/newjirei/default.aspx> で閲覧可能となっている。

盛岡市建設業（協）、創立 40 周年記念式典を開催

7月9日(月)、盛岡市建設業協同組合(熊谷 英典 理事長)は、創立 40 周年を記念し、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにて記念式典を盛大に開催した。組合関係者ら約 110 名が出席。

式典では、全国建設業協同組合連合会の青柳剛会長による祝辞のほか、これまでの功績を称え、歴代理事長や役員に対し功労者表彰が行われた。

式典に先立ち、盛岡市の谷藤裕明市長を講師に、「スポーツとまちづくり」と題して、記念講演会が催された。

式典後は、祝賀会が開かれ、盛会裏に終了した。



熊谷理事長による式辞

岩手県電気工事業（工業）、県内高校等へ実習用資材を寄贈

岩手県電気工事業工業組合(平野 喜嗣 理事長)は、今年で 10 回目となる県内工業系高校等に対する実習用資材の寄贈を行った。次世代を担う優秀な電気工事技術者の育成と銅資源の有効活用を目的に毎年この時期に実施している。このうち、産業技術短期大学校水沢校では、寄贈された資材を実習者資格取得練習のほか、オープンキャンパスや学園祭のイベントにも使用しているとのことで、学生からは「とてもありがたい」と寄贈を行った組合関係者に感謝の言葉が伝えられた。

同組合各支部から実習資材を寄贈した高校等は以下の通り。

宮古工業高校(宮古支部)、盛岡工業高校(盛岡支部)、水沢工業高校(水沢支部)、産業技術短期大学校水沢校(水沢支部)、一関工業高校(一関支部)、千厩高校(一関支部)、大船渡東高校(大船渡支部)、福岡工業高校(久慈支部)、黒沢尻工業高校(北上支部)、釜石商工高校(釜石支部)。



大船渡東高校で行われた寄贈の様子



一関工業高校で行われた寄贈の様子

盛岡市肴町（商振）、ゴルゴ 13 とタイアップイベント

盛岡市肴町商店街振興組合(豊岡 卓司 理事長)は、連載 50 周年特別展「さいとう たかを ゴルゴ 13」盛岡展とタイアップイベントを開催。期間は 7 月 21 日から 9 月 9 日まで。

今回のタイアップは参加各店 30 店で、展覧会の半券を使ったサービスと限定商品・サービスの提供が行われる。商店街恒例の七夕まつりでは、ゴルゴ 13 の吹流しが登場した。



商店街で行われた七夕まつりにてゴルゴ 13 の吹流し

千田伏二夫氏(千田精密工業代表取締役)、旭日単光受章祝賀会

千田伏二夫氏は、永年にわたる本県の中小企業振興に果たした多大な功績により、今年春の叙勲において旭日単光章【中小企業振興功労】を受章。これを祝して 7 月 28 日、奥州市のホテルプラザイン水沢にて、関係者多数出席の下、受章祝賀会が盛大に開催された。

氏は、水沢職業訓練校卒業後に 16 年間勤めた会社を退職し千田精密工業を創業。難削材の金属加工を得意とし、高い技術で多品種少量を短納期で実現。大手企業のニーズに対応する企業に育てた。従業員 113 人は全員が正社員。「人財」育成と地域貢献を常に心掛ける。千田氏は「多くの取引先と従業員、地域に育てられた。」と述べる。



千田氏ご夫妻



1. 全国の景況

(全国中小企業団体中央会平成30年7月20日発表)

6月は、原材料費・人件費・燃料費等の経営コスト上昇圧力が一層強まっている環境下において、販売価格への転嫁が進まないことから、太宗の業種において景況感が悪化。中小企業の景況感は総じて悪化している。広範な業種において人手不足が深刻な状況となっており、中小企業にとって労働力の確保が最重要課題の一つとなっている。後継者不在や設備老朽化等を理由とした組合員の脱退・廃業が多数報告されており、中小企業の先行きは引き続き注視していく必要がある。

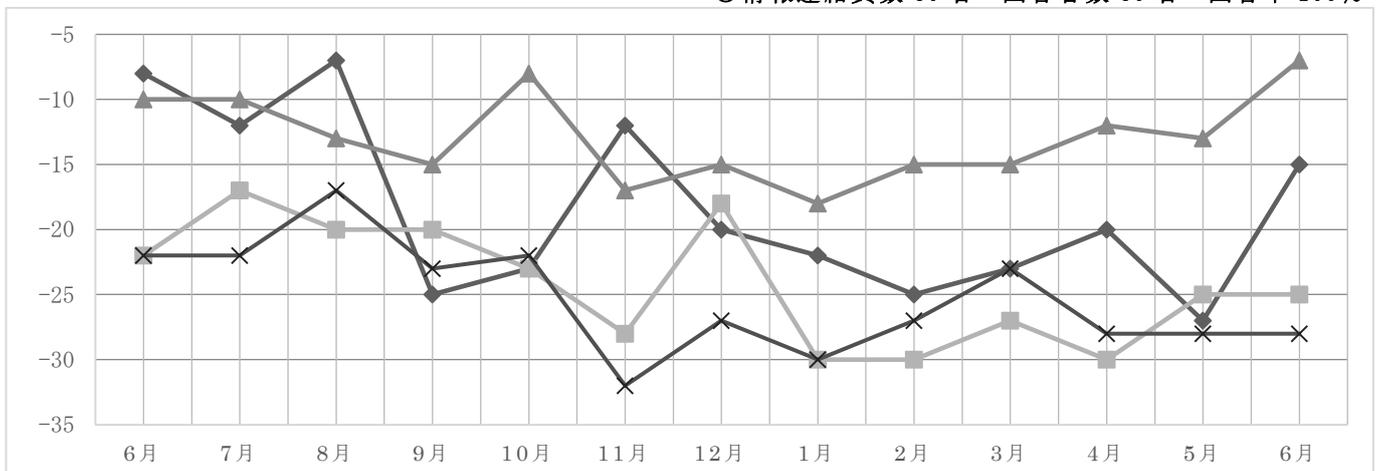
2. 景況天気図（県内）…平成30年6月と平成30年5月のDI比較

平成30年 6月分	全産業			製造業			非製造業			天気図
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比	
売上高	△27	△15	12P↗	△10	△5	5P↗	△36	△21	15P↗	
在庫数量	△12	△14	2P↘	△10	△14	4P↘	△14	△14	0P→	
販売価格	3	0	3P↘	0	0	0P→	5	0	5P↘	
取引条件	△8	△7	1P↗	△5	△5	0P→	△10	△8	2P↗	
収益状況	△25	△25	0P→	0	△10	10P↘	△38	△33	5P↗	
資金繰り	△13	△7	6P↗	△14	△5	9P↗	△13	△8	5P↗	
設備操業度	5	△5	10P↘	5	△5	10P↘	—	—	—	
雇用人員	△20	△17	3P↗	△14	△5	9P↗	△23	△23	0P→	
業界の景況	△28	△28	0P→	△14	△14	0P→	△36	△36	0P→	

DI (Diffusion Index) とは、景気動向指数や景気判断指数と呼ばれており、景気動向を早期に把握するために使われる指標である。「増加・上昇・好転」といったプラス回答の比率から「減少・低下・悪化」というマイナス回答の比率を差し引いた指数のこと。

3. 全産業（県内）…平成29年6月～平成30年6月DI推移（売上高・収益・資金繰り・景況）

○情報連絡員数 60名・回答者数 60名・回答率 100%



平成30年6月DI 《 ◆…売上 -15 ■…収益 -25 ▲…資金繰り -7 ×…景況 -28 》

4. 各業種の概況（県内）…平成30年6月分

◇酒類製造業

夏商戦に向け冷酒なども注目されていることもあり、商品ラインナップに工夫を凝らしている。

◇パン製造業

パン祭りなどが盛んに催され一種のブームが起きているが、個人消費は依然として盛り上がりには欠けている。また、原料用小麦が値上げされ、他の原材料高騰も続き、市場の動きは芳しくない。

◇菓子製造業

気温の上昇により菓子類の売上が伸び悩む時期、盆休みの需要まで一服感があると思われる。

◇めん類製造業

原料価格、物流費、人件費等費用の増加が続き売上減少で利益確保できず。また、繁忙期を迎えるが、人員確保もままならない状況である。

◇一般製材業

素材需給は、地域によるバラツキはあるものの、製材品の引き合いの高まりなどから素材価格の上昇も期待される。

◇銑鉄鋳物製造業

産業機械鋳物部品は多くの受注量はあるが、猛暑と人手不足の影響で生産量が減少した。

◇金属製品製造業

3ヶ月連続で改善してきた見積依頼数が半減、先行きへの不安材料となっている。また、入手困難な鋼種も拡大しつつあり、価格の動向に注意が必要。

◇野菜果実卸売業

果物は期間を通じて入荷が減少、単価高で推移。夏の果物の入荷が順調ではなく前進出荷気味で早めに切りあがる可能性があり、さらに単価高に拍車がかかる。

◇家庭用機械器具小売業

天候の変動が大きな月であったが、高機能タイプのアコンが好調だった。

◇燃料小売業

産出国の供給が潤沢ながら、プロパンは市況高騰、ブタンは需要堅調で高止まり。小売価格への影響は現状の推移が見込まれるが、高値基調が続けば小売価格も連動していく可能性が否定できない状況。

◇各種商品小売業

下旬は気温が高い日が続く客足が伸びなかった。

◇食肉小売業

例年、梅雨入りや天候不順で売上が低調な月ではあるが、今年はさらに悪化傾向が強い。

◇野菜・果実小売業

入荷量が減少し物販が低迷していると感じられる。小売分野では一部の産直形態は前年をクリアしているが全般に店舗、納入業者とも動きは停滞。

◇商店街（一関市）

夏前の小売店頭は消費の動きがにぶく、飲食関連以外は前年割れが多いようである。

◇商店街（盛岡市）

東北絆まつりの開催に伴い、大通は歩行者道路として開放され多くの来場客が行き交ったが、6年前の東北六魂祭ほどの賑わいには至らなかった。

◇建物サービス業

資材費・人件費の高騰がなかなか委託費に反映されない。

◇飲食業

道の駅開業20周年イベントを行うので、集客に結び付けばと期待している。

◇自動車整備業

売上単価の減少、ユーザーの維持経費の抑制傾向に加え、材料・管理経費等の増加で、売上高・収益とも厳しい状況が続いている。

◇土木工事業①

業況は悪くなく、引き合い件数は増えているが、人員不足のため積極的な受注に至らない。

◇土木工事業②

出荷実績は、震災復興工事では高田地区が残っているものの、大船渡地区が大きく減少し、全体の売上高は減少する傾向にある。

◇土木工事業③

2転3転する民間大型物件の対応に振り回され、全く余裕がない状態。相変わらず地域的な偏在が顕著でますます拡大する一方であり、公共工事のない状況では先行きが不安である。また、人手不足、車不足が深刻となっている。

◇塗装工事業

工事の発注が年々低迷してくるのに加え、塗料・資材の高騰、人手不足が顕著に現われている。

◇一般乗用旅客自動車運送業

依然安定しない原油取引の影響から車両燃料も値上りの傾向となり、企業収益の伸び悩みの一因ともなっている。

◇一般貨物自動車運送業

燃料価格値上りに加え、人出が集まらず、求人広告を出すも問い合わせすらない状況である。

第43回中小企業団体岩手県大会開催のご案内

本会では第43回中小企業団体岩手県大会を下記により開催致します。

つきましては、時節柄業務ご多忙の折とは存じますが、組合及び組合員の皆様の多数のご出席をお願い申し上げます。

- 開催日時 平成30年9月20日（木）午後2時～
- 開催会場 盛岡市「ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング」
- パーティー参加費 1名6,000円（被表彰者は3,000円）
- 参加申込方法 9月13日（木）までに本会統括管理部までお申込下さい。

中小企業組合等震災対応移動中央会開催のご案内

本会では、東日本大震災の影響により、著しい経営環境の変化に直面した沿岸地区の中小企業組合並びに中小企業者等の事業再構築、早期の復興に資するため、沿岸各地において支援施策説明会や個別相談会等を内容とする震災対応移動中央会を開催いたします。

この度、被災中小企業の施設・設備の復旧整備を支援する「第21次グループ補助金」が、平成30年9月上旬～10月中旬を公募期間として予定されておりますので、制度に関する説明会及び個別相談会（事前予約制）を下記により、開催致します。

■対象者…沿岸地区の中小企業組合及び中小企業者等

■開催日時・場所

- ①陸前高田会場 平成30年9月13日（木）13:30～ 陸前高田市コミュニティホール
- ②釜石会場 平成30年9月14日（金）9:00～ 釜石・大槌地域産業育成センター
- ③山田会場 平成30年9月14日（金）13:30～ 山田町中央公民館

■お申し込み方法

岩手県中央会 HP に掲載しております「震災対応移動中央会参加申込書」に必要事項をご記入いただき、9月7日（金）正午までに中央会宛て FAX または郵送にて、お申し込みください。

■お問い合わせ 岩手県中小企業団体中央会 連携支援部

〒020-0878 盛岡市肴町4-5 tel:019-624-1363 fax:019-624-1266

岩手県中小企業団体中央会 主要日誌		平成30年7月分
■岩手県中央会主な実施事業等		7月6日 岩手県中小企業グループ等復興事業計画審査会
7月3日	地区別懇談会(盛岡・商業)	東北地区商工中金ユース会連絡協議会ブロック大会
7月4日	地区別懇談会(盛岡・工業)	7月8日 盛岡マチナカ・ラグビーボール・パスリレー検討会
7月6日	地区別懇談会(県南地区)	7月9日 岩手地方労働審議会労働災害防止部会
7月9日	地区別懇談会(県北地区)	盛岡市建設業(協)創立40周年記念祝賀会
7月10日	地区別懇談会(宮古地区)	7月11日 岩手県伝統的工芸品全国大会準備委員会
	岩手県商店街振興組合連合会通常総会	7月12日 東北地方整備局との意見交換会
	平成29年度補正ものづくり補助金採択者向け説明会	フォーラムがんばろう東北
7月11日	地区別懇談会(久慈地区)	7月17日 中小企業憲章8周年のつどい
7月17日	地区別懇談会(花北地区)	7月18日 岩手県商工観光審議会
7月18日	岩手県中小企業青年中央会通常総会	7月19日 最低賃金審議会委員意見交換会(全中)
7月19日	地区別懇談会(釜石地区)	7月23日 岩手県地域人材育成協議会
7月20日	地区別懇談会(気仙地区)	7月24日 高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
7月25日	岩手県中小企業組合士会通常総会	7月25日 貸付審査委員会(岩手県信用保証協会)
■関係機関・団体主催行事への出席等		7月27日 全国中小企業団体共済事業通常総会
7月2日	岩手地方最低賃金審議会第2回本審	7月28日 千田伏二夫氏旭日単光章受章祝賀会
	いわての物産展等実行委員会	7月30日 岩手地方最低賃金審議会第3回本審
7月5日	中央最低賃金審議会委員会大船渡現地視察報告会	岩手県共同募金会評議員会